

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

日本語

ProLite B381C
ProLite B381R

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

日本語

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことを守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- タッチスクリーンモニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のモニタの点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。 ●キャビネットが異常に熱い。 ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。 ●使用中に異常な音や振動などがある。 ●その他の異常や故障がある。	⇒
			ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長	5
標準付属品	6
各部のなまえ	7
筐体への取り付け	9
コンピュータとの接続	11
コンピュータの設定	12
操作手順	13
調整メニューの内容	14
画面の調整	17
パワーマネージメント機能	19
故障かなと思ったら	20
クリーニング	21
アフターサービス	22
保証書／保証期間について	22
修理サービス	22
オプション部品	22
リサイクル／廃棄について	22
付録	23
対応信号タイミング	23
信号入力コネクタのピン配列	24

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。



警告



プラグを
抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理は販売店またはイヤマサービスセンターにご依頼ください。



禁止

異物を入れない

タッチスクリーンモニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。



プラグを
抜く

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。



禁止

花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をタッチスクリーンモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。



プラグを
抜く

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

警告



禁止



プラグを
抜く

取り付けネジで確実に固定する

万一、タッチスクリーンモニタを落したり、外装部品を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤーマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

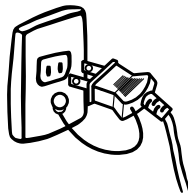
水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを
接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、タッチスクリーンモニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤーマサービスセンターに交換をご依頼ください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



注意



禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、タッチスクリーンモニタは周囲から10cm以上離して置いてください。

筐体内に冷却ファン等を設け、熱がこもらないようにしてください。



禁止

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約**40～60cm**はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に**10分**程度の休息をおすすめします。

動作温度／湿度

筐体等の内部温度／湿度がタッチスクリーンモニタの使用範囲を外れることがないように設計してください。冷却ファンを適当な位置に使用されることをおすすめします。

タッチスクリーンモニタ 動作温度範囲：5～40℃

動作湿度範囲：20～85%（結露なきこと）

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- タッチスクリーンモニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善していきますが、改善されないまま前の画像パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・ 画面の表示パターンを変える。
 - ・ 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

本製品は筐体に取り付けて使用することを目的に設計されています。ご使用の際は、必ず筐体に取り付けてご使用ください。

特長

◆ 38センチ（15.0インチ） TFTカラー液晶モニタ

◆ 最大1024×768モードをサポート

◆ ガンマコントロール機能搭載

動画や自然画を見る際、黒沈みを抑え、メリハリのある画像を表示出来ます。

◆ デジタルスムージング機能搭載

◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載

◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応、Windows® 95/98/2000/Me/XP対応

◆ パワーマネージメント機能搭載

◆ VESAマウント規格（75mm×75mm）対応：アーム取り付け・壁掛け可能

◆ コンパクト設計

タッチスクリーンモニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

機種名	Pro Lite			
	B381C / B381R		B381CU / B381RU	
	-M	-B	-M	-B
電源コード*1	○	○	○	○
D-SUB信号ケーブルMB36	○	○	○	○
RS-232CケーブルSR52	○	○		
USBケーブルSU42			○	○
タッチスクリーン(タッチパネル) ドライバードиск (CD-ROM) *2	○	○	○	○
取り付け用金具2ヶ		○		○
固定ネジ4本		○		○
コントロール基板	○	○	○	○
取扱説明書／保証書 (本書)	○	○	○	○
仕様表 (別紙)	○	○	○	○

補足 *1 1. 次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

■付属以外の電源コードをお使いになる場合

■日本以外の国でお使いになる場合

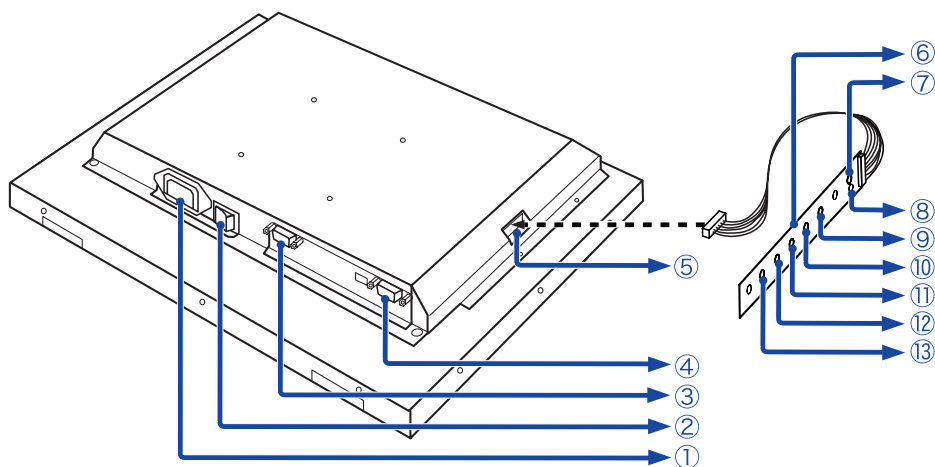
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

2. 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

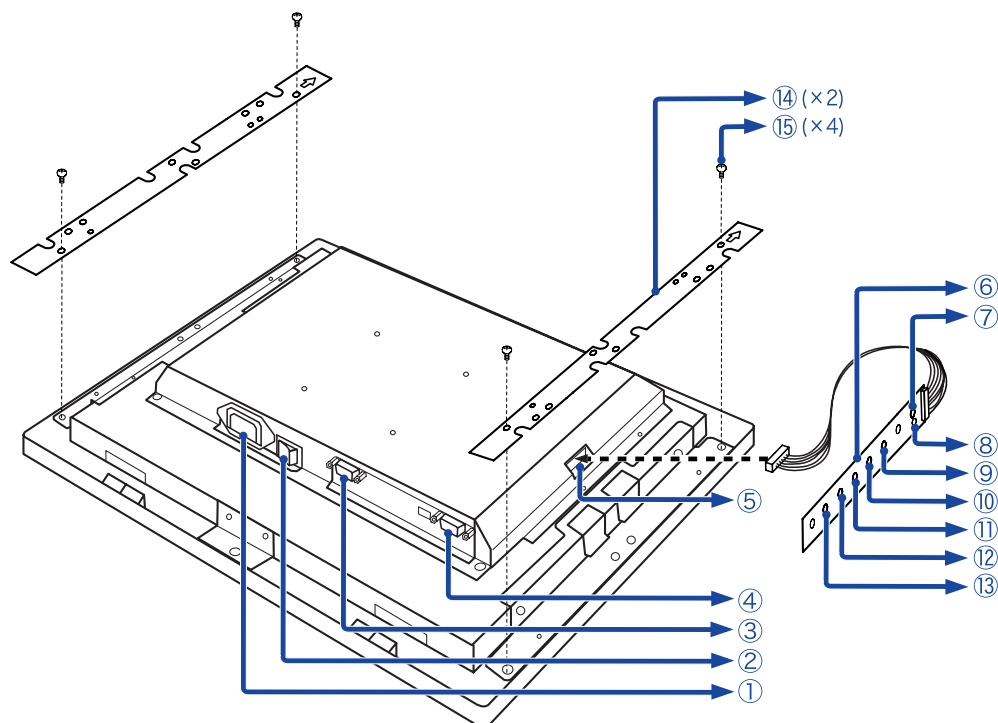
*2 タッチスクリーンのドライバースoftwareが含まれています。RS-232CケーブルまたはUSBケーブルでモニタとコンピュータを接続後、インストールしてください。詳細はドライバードиск内のReadmeファイルを参照してください。

各部のなまえ

Pro Lite B381C/CU/R/RU-M



Pro Lite B381C/CU/R/RU-B



- ① 電源コード接続コネクタ
- ② 主電源スイッチ
- ③ RS-232Cケーブル接続コネクタ／USBケーブル接続コネクタ *1
- ④ D-SUBミニ15ピンコネクタ
- ⑤ コントロール基板接続コネクタ
- ⑥ コントロール基板

コントロール基板接続コネクタに接続します。

補足 コントロール基板は画面調整時に必要となります。画面調整終了後は、コントロール基板を必ず取り外し、別保管してください。接続したまま使用すると誤操作の原因となる場合があります。

- ⑦ 電源スイッチ (⏻)
- ⑧ 電源インジケータ

補足 緑色点灯：通常動作時

橙色点灯：パワーマネージメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。

- ⑨ 自動調整ボタン (AUTO)
- ⑩ プラス／明るさ調整ボタン (+)
- ⑪ マイナス／コントラスト調整ボタン (-)
- ⑫ メニューボタン (MENU)
- ⑬ 入力情報ボタン (INPUT)

現在受像している信号の解像度と水平および垂直周波数を表示します。

- ⑭ 取り付け用金具 *2



印を天面側に置き、固定ネジにてタッチスクリーンモニタ後面に固定します。

- ⑮ 固定ネジ *2

左図の点線に従い取り付け用金具を固定します。

*1 別紙「仕様表」の通信方式を参照してください。

*2 Pro Lite B381C/CU/R/RU-B 付属品

筐体への取り付け

警告 ■ネジは長さ10mm以下のものを使用してください。特にVESAマウント規格(75mm×75mm)対応のネジ穴の場合、長さ10mmを超えるネジを使用すると、タッチスクリーンモニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。

注意 ■異常が発生したときにすぐに電源を切れるように、取り付け後の製品は下記のいずれかに対応した設計を行ってください。

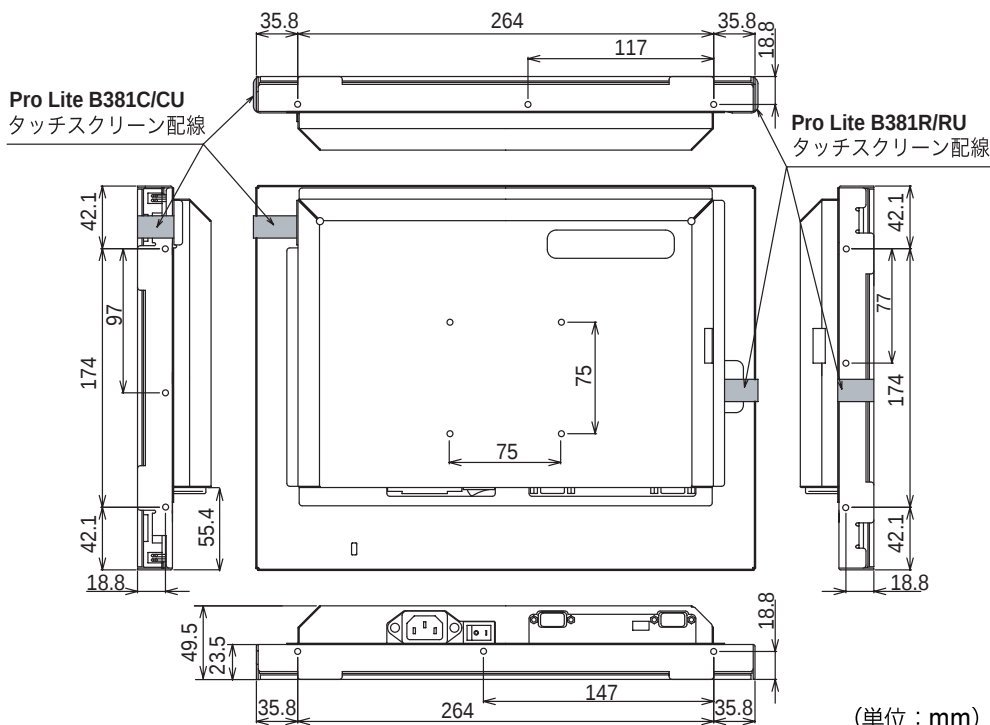
- ・電源遮断装置を設ける。
- ・コンセントの近くに設置する。
- ・電源プラグを抜き差ししやすい位置にコネクタを配置する。

■取り付けを行う場合は、タッチスクリーン配線に板金や筐体が接触しないようにご注意ください。タッチスクリーン配線に圧力・応力が加わると、タッチスクリーンの誤動作または破損の原因となることがあります。

Pro Lite B381C/CU/R/RU-M

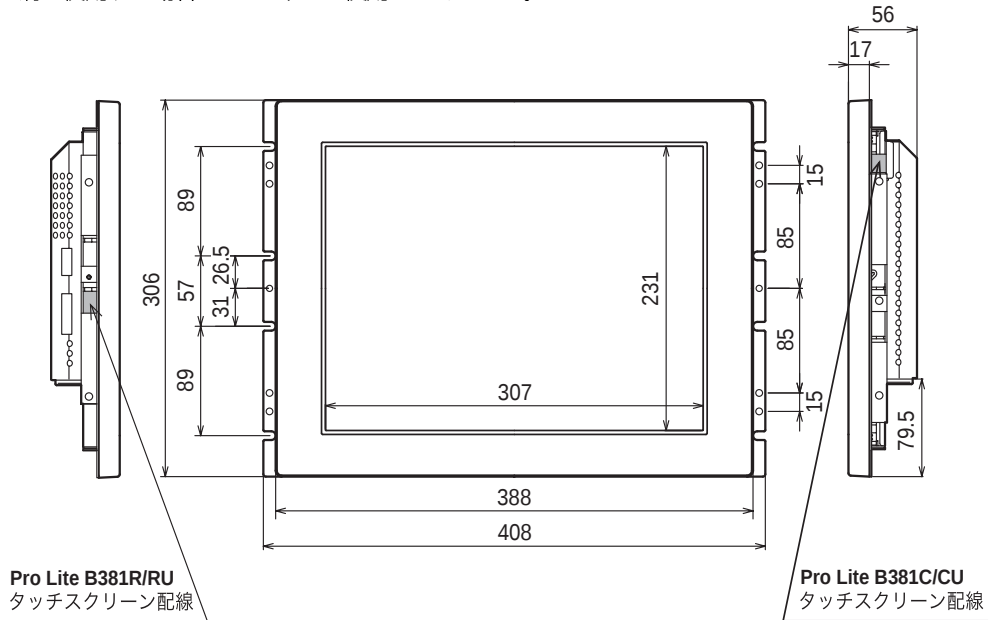
外周部のM3ネジ穴(12ヶ所)を利用して取り付けてください。

取り付けるときは強固な板金等を使用し、ネジでしっかりと固定してください。



Pro Lite B381C/CU/R/RU-B

取り付け用金具(付属品)のM5ネジ穴(10ヶ所)、またはU溝(8ヶ所)を利用し、片側2ヶ所以上をネジでしっかりと固定してください。
U溝を使用する場合はM6のネジを使用してください。



(単位 : mm)

コンピュータとの接続



警告

■安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



注意

■信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとタッチスクリーンモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① タッチスクリーンモニタおよびコンピュータの主電源が「OFF」であることを確認します。

② D-SUB信号ケーブルを、タッチスクリーンモニタとコンピュータに接続します。（P.24「信号入力コネクタのピン配列」参照）

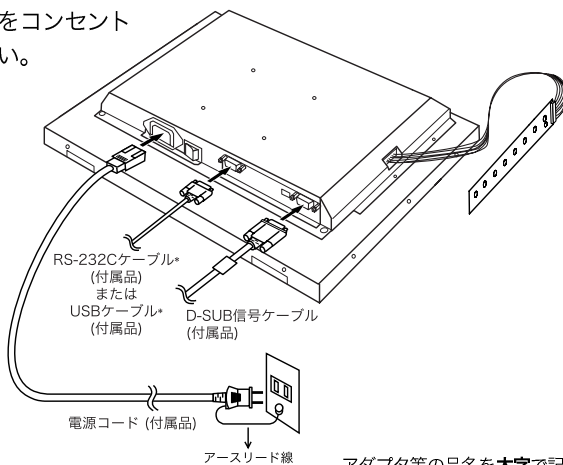
補足 D-SUB信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルを、タッチスクリーンモニタとコンピュータに接続します。（P.24「信号入力コネクタのピン配列」参照）*

補足 RS-232Cケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]



* 別紙「仕様表」の通信方式を参照してください。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機（DOS/V） IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブル （付属品）		D-SUB ミニ15ピン
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタ PC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル （付属品）	
Macintosh*	D-SUB 15ピン	変換アダプタ MAC パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル （付属品）	

補足 * Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.23「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP プラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

組立

補足

■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ 電源投入時の順序

電源投入時の順序はタッチスクリーンモニタ、コンピュータの順に電源スイッチをONして起動してください。

■ ソフトウェアに関する注意事項

タッチしたままシステムを起動すると、タッチスクリーンのソフトウェアやシステムが起動できないことがあります。

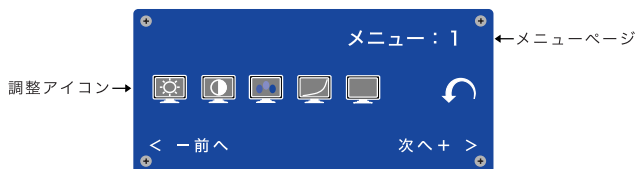
コンピュータのBIOSによっては、パワーマネージメントを設定しているとタッチスクリーンのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。そのようなときはパワーマネージメントの設定をOFFにしてください。

操作手順

P.23の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。プラス／マイナスボタンでページを送ります。



- ② 調整したいアイコンがあるメニュー画面（ページ）を表示し、メニューボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、プラス／マイナスボタンで調整するアイコンを選択します。

- ③ 再びメニューボタンを押し、プラス／マイナスボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：2のページを表示させ、メニューボタンを押します。次にプラス／マイナスボタンで （垂直ポジション）を選択し、メニューボタンを押します。



調整画面が表示されますので、プラス／マイナスボタンでお好みの画面に調整します。



- 補足** ■ 調整中にボタン操作を中止すると、設定時間後にオンスクリーン表示が消えます。（P.16「OSDオフタイマー」参照）

また、メニューボタンとマイナスボタンを同時に押すとオンスクリーン表示が消えます。

- オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。

- クロック、フェーズ、ポジションの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

メニュー：1

メニュー：1

<

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、明るさ調整を調整してください。

ダイレクト調整

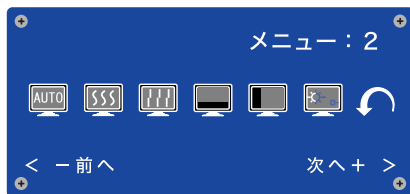
メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- 明るさ調整：メニュー画面を表示していない時に、プラスボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時に、マイナスボタンを押します。

補足 明るさ調整／コントラストの切り替え

ダイレクト調整中、プラスボタンまたはマイナスボタンを押してから約5秒以内にメニューボタンを押すたびに、明るさ調整、コントラストの調整画面を切り替えることができます。

メニュー：2



調整項目		画面の状態／調整ボタン	
 自動調整* Auto Set up ダイレクト 調整	No	メニュー画面に戻ります	
	Yes	クロック, フェーズ, 垂直ポジション, 水平ポジションの4項目を自動で調整します	
補足 ■ 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。（約5秒） ■ 表示されているパターンにより精度が異なります。			
 クロック* Clock	模様や文字がにじんだり、ちらついている		 + -
 フェーズ* Phase	模様や文字がにじんだり、ちらついている		 + -
 垂直ポジション V-Position	 下によっている	 + -	
	 上によっている	 + -	
 水平ポジション H-Position	 左によっている	 + -	
	 右によっている	 + -	
 シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5 1～5（ソフト→シャープ）から画質を設定します。 1024×768未満の解像度で表示したときの画質を調整します。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。		 + -
 メニューに戻ります Return To Menu	メニューページ選択画面に戻ります		

* この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.17「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- 自動調整：自動調整ボタンを押します。

メニュー：3



調整項目		画面の状態／調整ボタン	
 OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5		
	1 2 3 4 5  + - 1～5からオンスクリーンの位置を設定します。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。		
 OSDオフタイマー OSD Off Timer	オンスクリーンのオフタイマーを5～60秒間で設定します 		
 キーロック Lock Mode	No	メニュー画面に戻ります	
	Yes	すべての調整をロックします	
補足 ロックを実行すると解除できなくなります。解除が必要な場合はサービスマンにお問い合わせください。			
 言語設定 Language	English	英語表示	
	Deutsch	ドイツ語表示	
	Francais	フランス語表示	
	Nederlands	オランダ語表示	
	中文	中国語表示	
	日本語	日本語表示	
 リセット Reset	No	メニュー画面に戻ります	
	Yes	工場出荷設定に戻します	
 メニューに戻ります Return To Menu	メニューページ選択画面に戻ります		

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1024×768の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1024×768未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1024×768の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手で調整を行ってください。

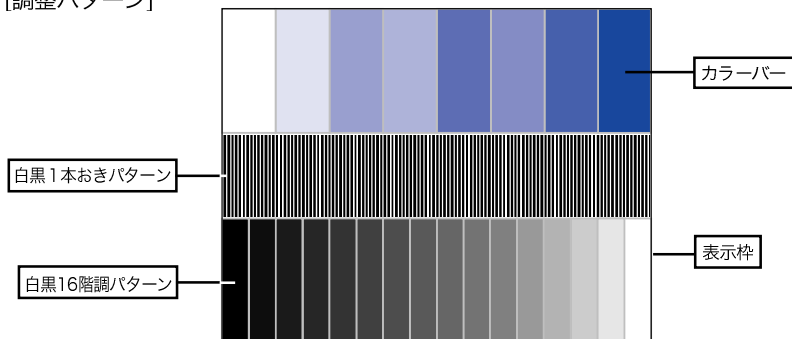
本製品には、画面の調整方法としてクロック、フェーズ、位置を自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

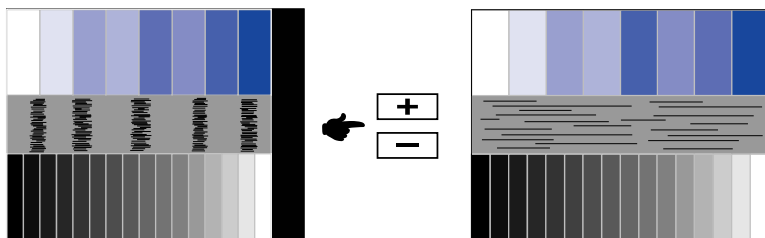
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 「画面調整プログラム」を起動します。
- ② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

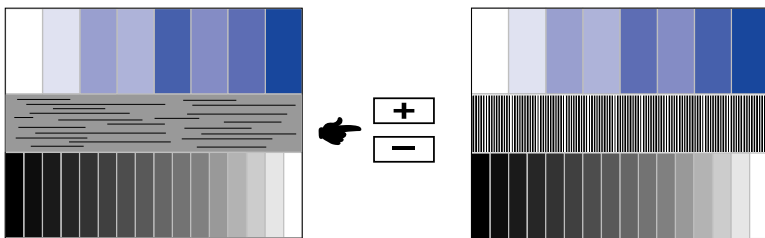
[調整パターン]



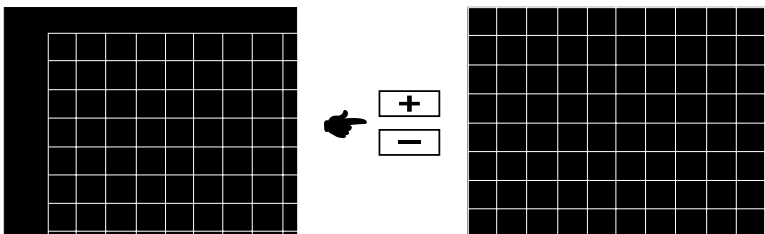
- ③ 自動調整ボタンを押します。(ダイレクト調整)
または、メニューから **AUTO** (自動調整)を選択、実行します。
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直ポジション、水平ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平ポジションを交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- クロック、垂直ポジション、水平ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
- フェーズを調整しても画面の一部にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、③から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

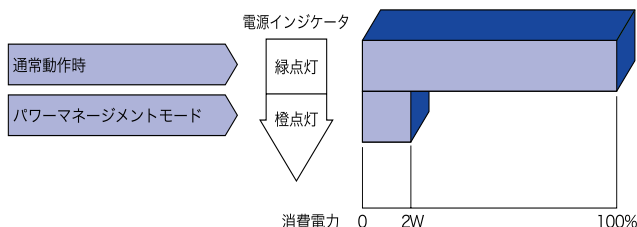
- ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューの明るさ調整、コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
- 「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 2W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などタッチスクリーンモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。
- コンピュータによっては、パワーマネージメント動作時にタッチスクリーンをタッチしてもパワーマネージメントから復帰できない場合があります。そのようなときはコンピュータのパワーマネージメント機能をOFFにしてください。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、タッチスクリーンモニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

① 映像が出ない

- ☐ 電源コードが確実に接続されていますか？
- ☐ 電源スイッチが「ON」されていますか？
- ☐ 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。
- ☐ パワーマネジメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
- ☐ 明るさおよびコントラストが最小になっていませんか？
- ☐ コンピュータの電源は入っていますか？
- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

② 画面が乱れている

- ☐ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

③ 画面の位置が片寄っている

- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

④ 画面が明るすぎる／暗すぎる

- ☐ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑤ 画面が揺れる

- ☐ 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。
- ☐ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

⑥ タッチスクリーンが反応しない

- ☐ RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが確実に接続されていますか？
- ☐ タッチパネルドライバソフトがインストールされていますか？

⑦ タッチ位置がずれる

- ☐ キャリブレーション（アライメント）は正しく行われていますか？

クリーニング



警告

- 万一、タッチスクリーンモニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。



注意

- 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

- タッチスクリーン表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットやタッチスクリーンを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・シンナー ・スプレークリーナー
 - ・ベンジン ・ワックス
 - ・研磨剤 ・酸性、アルカリ性の溶剤
- キャビネットやタッチスクリーンにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット

柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

タッチ スクリーン

定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。汚れのひどい場合にはうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。（洗剤を直接タッチスクリーン表面にかけないでください。）

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
また、光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためタッチスクリーンモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、タッチスクリーンモニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 11の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄については、イヤマ販売へお問い合わせください。

付録

詳細な仕様については、別紙「仕様表」をご覧ください。

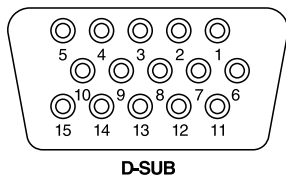
対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
VGA TEXT	720×400 *	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz
	1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz
PC9801	640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz

補足 * 画像の縦横比が4：3でないため、上下方向に間のびした画像になります。

信号入力コネクタのピン配列

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ

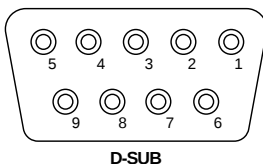


PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4		12	データライン(SDA)*
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC 規格に準拠

通信方式が**RS-232C**の場合*

■ RS-232C 9ピンコネクタ



PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	DCD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	
5	接地		

* 別紙「仕様表」の通信方式を参照してください。

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



植物性大豆油インキを使用しています

仕様表

仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

機種名		Pro Lite B381C-M	Pro Lite B381CU-M
タッチ スクリーン	方式	静電容量結合方式	
	表面処理	アンチグレア(透過率86%)	
	通信方式	RS-232C	USB
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角：38cm／15.0"	
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm	
	輝度	260cd/m ² (標準) *	
	コントラスト比	500：1 (標準)	
	視野角	左/右方向各70° 上方向55° 下方向65° (標準)	
	応答速度	25ms (黒→白→黒)	
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平：24.0～61.0kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック		80MHz (最大)	
解像度		1024×768 (最大)	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ	
		RS-232C 9ピンコネクタ	USB 5ピンコネクタ (Rev.1.1適合)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期： TTL, 正極性/負極性	
		コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm	
入力電源		AC100～230V 50/60Hz 0.59～0.32A	
消費電力		30W (最大) パワーマネージメントモード時：2W (最大)	
外形寸法		335.6 (幅) × 258.2 (高) × 49.5 (奥行) mm	
重量		2.9kg	
環境条件		動作時の温度： 5～40℃	
		保管時の温度： -20～60℃	
		湿度 (-20～50℃未満時)： 20～85%(結露なきこと)	
		湿度 (50～60℃時)： 20～55%(結露なきこと)	
適合規格		CE, FCC-B, MET (US and Canada), VCCI-B	

補足 * タッチパネル装着時。

機種名		Pro Lite B381C-B	Pro Lite B381CU-B
タッチ スクリーン	方式	静電容量結合方式	
	表面処理	アンチグレア(透過率86%)	
	通信方式	RS-232C	USB
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角：38cm／15.0"	
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm	
	輝度	260cd/m ² (標準) *	
	コントラスト比	500：1 (標準)	
	視野角	左/右方向各70° 上方向55° 下方向65° (標準)	
	応答速度	25ms (黒→白→黒)	
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平：24.0～61.0kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック		80MHz (最大)	
解像度		1024×768 (最大)	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ	
		RS-232C 9ピンコネクタ	USB 5ピンコネクタ (Rev.1.1適合)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期： TTL, 正極性/負極性	
		コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm	
入力電源		AC100～230V 50/60Hz 0.59～0.32A	
消費電力		30W (最大) パワーマネージメントモード時：2W (最大)	
外形寸法		408 (幅) × 306 (高) × 56 (奥行) mm	
重量		3.4kg	
環境条件		動作時の温度： 5～40℃	
		保管時の温度： -20～60℃	
		湿度 (-20～50℃未満時)： 20～85%(結露なきこと)	
		湿度 (50～60℃時)： 20～55%(結露なきこと)	
適合規格		CE, FCC-B, MET (US and Canada), VCCI-B	

補足 * タッチパネル装着時。

機種名		Pro Lite B381R-M	Pro Lite B381RU-M
タッチ スクリーン	方式	抵抗膜方式	
	表面処理	アンチグレア(透過率80%)	
	通信方式	RS-232C	USB
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角：38cm／15.0"	
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm	
	輝度	240cd/m ² (標準) *	
	コントラスト比	500 : 1 (標準)	
	視野角	左/右方向各70° 上方向55° 下方向65° (標準)	
	応答速度	25ms (黒→白→黒)	
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平：24.0～61.0kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック		80MHz (最大)	
解像度		1024×768 (最大)	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ	
		RS-232C 9ピンコネクタ	USB 5ピンコネクタ (Rev.1.1適合)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期： TTL, 正極性/負極性	
		コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm	
入力電源		AC100～230V 50/60Hz 0.59～0.32A	
消費電力		30W (最大) パワーマネージメントモード時：2W (最大)	
外形寸法		335.6 (幅) × 258.2 (高) × 49.5 (奥行) mm	
重量		2.9kg	
環境条件		動作時の温度： 5～40℃	
		保管時の温度： -20～60℃	
		湿度 (-20～50℃未満時)： 20～85% (結露なきこと)	
		湿度 (50～60℃時)： 20～55% (結露なきこと)	
適合規格		CE, FCC-B, MET (US and Canada), VCCI-B	

補足 * タッチパネル装着時。

機種名		Pro Lite B381R-B	Pro Lite B381RU-B
タッチ スクリーン	方式	抵抗膜方式	
	表面処理	アンチグレア(透過率80%)	
	通信方式	RS-232C	USB
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス	
	サイズ	対角：38cm／15.0"	
	画素ピッチ	水平 0.297mm×垂直 0.297mm	
	輝度	240cd/m ² (標準) *	
	コントラスト比	500 : 1 (標準)	
	視野角	左/右方向各70° 上方向55° 下方向65° (標準)	
	応答速度	25ms (黒→白→黒)	
最大表示色		約1620万色	
走査周波数		水平：24.0～61.0kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック		80MHz (最大)	
解像度		1024×768 (最大)	
信号入力コネクタ		D-SUBミニ15ピンコネクタ	
		RS-232C 9ピンコネクタ	USB 5ピンコネクタ (Rev.1.1適合)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC2B™対応	
入力同期信号		セパレート同期： TTL, 正極性/負極性	
		コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲		水平：304.1mm 垂直：228.1mm	
入力電源		AC100～230V 50/60Hz 0.59～0.32A	
消費電力		30W (最大) パワーマネージメントモード時：2W (最大)	
外形寸法		408 (幅) × 306 (高) × 56 (奥行) mm	
重量		3.4kg	
環境条件		動作時の温度： 5～40℃	
		保管時の温度： -20～60℃	
		湿度 (-20～50℃未満時)： 20～85% (結露なきこと)	
		湿度 (50～60℃時)： 20～55% (結露なきこと)	
適合規格		CE, FCC-B, MET (US and Canada), VCCI-B	

補足 * タッチパネル装着時。